アスレティックトレーナー概論

科目ナンバー 7B242
専門基礎 選択 2単位

剣持 佑起

1. 授業の概要(ねらい)

アスレティックトレーナー(以下:AT)は、誰からも慕われる人間性、思いやりのある人柄が重要であり、競技者やチームのために献身的に時間を費やし努力するという姿勢が大切です。本授業では、オムニバス形式でATの歴史から、業務内容(①スポーツ外傷・障害の予防②スポーツ現場における救急処置③アスレティックリハビリテーション④コンディショニング⑤検査・測定評価⑥健康管理と組織運営⑦教育的指導)および医師やコーチ、監督との連携についての役割も学習します。ATとしての高い倫理観を養成する基礎となるものです。また、ゲストスピーカーとして、トレーナー課程卒業生による講話も予定しています。

この授業では、DPIに関連したスポーツ医学の知識を修得します。

2. 授業の到達目標

- ・ATの7つの役割について説明できる。(知識・理解)
- ・各国におけるATの歴史と動向について説明できる。(知識・理解)
- ・スポーツドクター、コーチ、監督との連携の意義について説明できる。(知識・理解)
- ・選手の健康管理と法的諸問題について説明できる。(知識・理解)
- ・AT倫理について説明できる。(知識・理解)

3. 成績評価の方法および基準

平常点(授業への参加度合、積極性等)10% レポート課題40% 定期試験テスト50%

4. 教科書・参考文献

教科書

必要に応じてプリントを配布します

参考文献

日本スポーツ協会 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト①「アスレティックトレーナーの役割」 文光堂

5. 準備学修の内容

1回の授業あたり30分間の予習と1時間程度の授業内容の復習が必要となります。

6. その他履修上の注意事項

学生トレーナーとしてのライフ・スタイルを確立していくために規則正しい生活や挨拶、礼儀を常日頃から意識して実施して下さい。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンスとアスレティックトレーナーの役割概論(剣持)
- 【第2回】 アスレティックトレーナー業務の実際 大学内の現場実習(庄司)
- 【第3回】 アスレティックトレーナー業務の実際 高校部活動における現場実習(庄司)
- 【第4回】 アスレティックトレーナー業務の実際 外部団体における現場実習(庄司)
- 【第5回】 アスレティックトレーナー業務の実際 予防とコンディショニング(庄司)
- 【第6回】 アスレティックトレーナー業務の実際 アスレティックリハビリテーション(庄司)
- 【第7回】 アスレティックトレーナー業務の実際 スポーツ障害・外傷の予防(庄司)
- 【第8回】 アスレティックトレーナー業務の実際 教育的指導(庄司)
- 【第9回】 アスレティックトレーナー業務の実際 スポーツ現場における救急対応(剣持)
- 【第10回】 アスレティックトレーナー業務の実際 検査・測定と評価(剣持)
- 【第11回】 アスレティックトレーナー業務の実際 健康管理と組織運営(剣持)
- 【第12回】 医学スタッフとの連携・協力(剣持)
- 【第13回】 組織の運営と管理(剣持)
- 【第14回】 アスレティックトレーナーの社会的立場と倫理(剣持)
- 【第15回】 テスト、まとめ(剣持)